



本市のデータ

(1)面積

(2)人口

50国調	12国調	17国調	22国調	平24.11.1住基
8,180	6,541	5,979	5,534	5,520
65歳以上人口比率(22国調)				39.5%

(3)世帯数

50国調	12国調	17国調	22国調	平24.11.1住基
2,329	2,139	2,066	1,944	2,164

(4)沿革

平成17年1月1日：2町(赤来町・頓原町)合併

(5)産業構造

区分	就業人口	就業人口	就業人口
	50国調	17国調	22国調
1次	2,569人 53.4%	720人 23.1%	588人 21.2%
2次	806人 16.8%	779人 25.0%	588人 21.2%
3次	1,433人 29.8%	1,600人 51.3%	1,584人 57.2%
計	4,808人	3,166人	2,768人

本市の概要

飯南町は、島根県と広島県の県境、島根県の南側の玄関に位置します。また、中国山地の中央部に位置し、北西には大山隠岐国立公園三瓶山、東には大万木山などの山々が連なりみどり豊かな自然に囲まれた高原の町です。女亀山を源流とする神戸川、斐伊川、江の川二清流がそそぎ、その流域に耕地が広がっています。

明るく豊かな郷土の実現に向け、『^{まち}小さな田舎からの「生命地域」宣言 “いのち彩る里 飯南町”』を基本理念として、まちづくりを進めています。山陰では初となる森林セラピー®基地の認定を受け「癒しと健康」、健康の回復・維持・増進をめざしています。



支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

飯南町では壮年期層の自死が多く、特に50代の男性が多い傾向にある。そのため、飯南町の自死対策としては壮年期層を主なターゲットとして、健康教室、職場健診や町の健診時にパンフレットを活用し啓発活動を実施しているところである。より多くの人に自死やこころの健康問題について理解してもらえるよう、小さい単位で講演会等を開催して知識の普及を行い、自死に繋がりがやすいと言われるうつ病に対する偏見をなくし、早期発見・早期相談・早期治療ができるように支援体制の整備を図っていきたい。

<具体的な取組み>

1. 関係機関との連携

◆平成23年度～

(1) 自死対策検討委員会

(飯南町健康なまちづくり推進協議会壮年期専門部会を構成している9団体より構成)

(2) 関係部局(庁内)連絡会議

2. 実体把握

◆平成23年度

(1) ころの健康についての意識調査

壮年期層(30～60歳の5歳毎)を対象にアンケート調査を実施

3. 情報提供・啓発

◆平成24年度

(1) 飯南町自死対策パンフレット作成・配付

自治会文書として各戸配付・健康教室や健診時に配付

(2) 認知症ところの健康講演会

認知症サポーター育成教室と連携し、精神科医によるうつ病についての講演を実施

(3) 地域での健康教室

地域サロンや婦人会などの集まりで、精神科医や保健師などによるころの健康教室を実施

(4) 町内中学・高校での啓発

中学校や高校で命の大切さを啓発



4. ゲートキーパー研修

◆平成22年度

(1) 民生児童委員対象のゲートキーパー研修の実施

◆平成24年度

(2) 職員対象のゲートキーパー研修の実施(予定)